

# シラチャ校だより

泰日協会学校  
シラチャ校  
2018. 11. 30



## 「10年の受け継いだバトン」

泰日協会学校シラチャ校 校長 久光靖男

朝靄にかすむ朝日が真っ赤に染まり、すがすがしい風が吹き抜ける季節になりました。いよいよ12月です。

先の運動会。雨が心配されましたが、創立10年という節目を祝ってか空の雲も味方になってくれたようです。午後雨を想定したプログラムの変更などにも柔軟に対応いただいたおかげで滞りなく終えることができました。赤白それぞれ、応援や演技、競技に対して「10年の受け継いだバトン」への思いを込めて精一杯取り組む児童生徒の姿が随所に見られたこと、見ている私自身も胸が熱くなりました。体調管理のための声かけ、励ましなど保護者の皆様の応援のおかげと感謝いたします。ご協力ありがとうございました。

さて当時、一番「新しい」日本人学校だったシラチャ校も、10年間に新たに日本人学校が設立され、その位置が変わってきました。来年はインドネシアのジャカルタ日本人学校維持会が「ジャカルタ日本人学校 チカラン校 (J J S C)」を西ジャワ州ブカシ県チカランに最大で約400人の生徒を受け入れる学校として設立する予定です。またメキシコ国に、日本メキシコ学院、アグアスカリエンテス日本人学校の2つの日本人学校に続き、「グアナファト日本人学校」(収容可能生徒数は270名)とケレタロ州に「ケレタロ日本人補習授業校」が設立される予定になっています。設立に当たってのシラチャ校開校のノウハウが生かされているという話を聞きました。シラチャ校の受け継いだバトンは単にシラチャだけではなく、いろいろなところでつなごうとしています。スムーズな開校をお祈りしています。

### 「私はなに人？」

堀川沙愛

(サントドミンゴ補習授業校 中学二年)

私はなに人？

私の両親は日本人 でも私は日本にはほとんど住んだことがない . . . . .

十三歳からドミニカ共和国に住んでいる  
今までの国で話してきた英語とチリで話していたスペイン語 言葉の壁はない

いろいろな国に住み、いくつかの言語ができて羨ましがられる  
でも居場所はどこの？

私の体の居場所はあるけれど

心の居場所はどこのか

私の心は迷子で居場所を探し続けている

人は私を外見から日本人と決めつける

心は日本人でもない . . . . .チリ人でも グア

テマラ人でも エチオピア人でもカンボジ

ア人でも ドミニカ人でもない

六つの国で生み出した笑顔と涙、思い出、  
経験、生活、人とのふれあいや絆で、私はできていてその各国の血が流れている。

私はなに人？

第39回海外子女文芸作品コンクールからの堀川さんの詩の一部を抜粋させていただきました。世界を広く経験していく中で、グローバルな感覚で世界を見つめようとするお子さんの気持ちが伝わってきます。そういったお子さんは「地球人」ということになるのでしょうか。国際経験が自身の人格形成に大きく影響することを十分踏まえ、今後も真摯にみなさんのお力をお借りしながら、シラチャ校の歴史を刻んでいきたいと考えています。

# 助け合い 協力した 創立10年記念 運動会

体育主任 林口 晃



わずか10年前には、学校があった場所は一面がキャッサバ畑でした。そこが10年後には児童生徒数451名の学校となり、今回、多くの保護者、関係者を招いて盛大に10年記念の運動会を行うことができました。万国旗が垂れ、テントが張られ、雷管の音が響き、運動会の音楽が流れました。初めて見る海外での運動会は、日本の運動会そのものでした。

1、2年生の「レッツ カーニバル？」では、ボンボンを生かして表現することの楽しさを体全体で表していました。また、団体競技の「踊って入れよう！シラチェッコリ☆」では、玉入れの間に愛らしい踊りを披露し、見学している児童生徒も一緒に踊る姿が見られました。とても、ほっこりとした優しい気持ちになりました。

3、4年生の「SAMURAI ソーラン～舞って魅せる10年目のシラチャ魂～」では、動きのそろった踊りとキレのある動きがすばらしかったです。また、「力を合わせて 勝利を引きよせろ！！」では、後で急いで走って綱引きを助ける場面が大いに盛り上がりました。

5、6年生の「咲かせよう～98人の友情の花～」では、花をテーマに全員で協力した演技を見せることで感動を呼びました。「騎馬戦」では、どの騎馬の戦いも白熱していて見ていてハラハラドキドキでした。

中学生の「いと無敵10ショーン！」では中学生らしい自主性が前面に出たダンスを披露することができました。多感な中学生が少しでも自分を出そうとして、表現する姿に驚きました。「棒取りハンパないっ10～ワロタ～」では、作戦面での違いが鮮明に出て、練習とは違う結果になり感心しました。

応援合戦では中学生が小学生に教える姿、中学生、小学生とも刺激し合い、頑張る姿を見て、小中合同運動会の醍醐味を感じることができました。バトンを落とした子を励ます姿、係で学校のために働く姿など、助け合い、協力する姿がシラチャ校10年で築いた特色だと感じました。

最後になりましたが、忙しい中お集り頂き、温かい声援、拍手をくださり、本当にありがとうございました。

## 前向きな日本由来の競技？

私は25年以上カヌースポーツをしてきました。カヌーとボートの違いをよく聞かれますが、競技分類としては「てこを使ったオールで後ろ向きに進む艇がボート」で、「てこを使わないパドルで前向きに進む艇がカヌー」です。私はパドルで水を掴む感覚に取り付かれてしまい、ありとあらゆるパドルスポーツをしてきました。ぜひあの感覚を一人でも多くの人に体験してほしいと思っています。英語としての「カヌー(canoe)」の語源はカリブ諸島の「カノア(canoa)」とされ、軽い小舟を指すスペイン語に由来するそうです。しかし、最近になってカヌーの語源は日本語かもしれないという説を聞きました。「古事記」や「日本書紀」といった日本最古の文献の中に古代ポリネシア語の発音と類似している言葉が数多く記載されており、「<sup>か</sup>野<sup>の</sup>」という速く走る舟のことが記述されているようで、「枯れ野を駆けめぐるほど速い舟」といった意味だそうです。実は大昔の日本人が大きな枯野で海を渡り、ポリネシア人にその技術を名前と共に教え、そこからカリブ海の住民に「カノア」と伝わっていったのではないかという話でした。ずっと海外発祥のスポーツをしてきたつもりでしたが、その古代ルーツが日本にあるかもしれないということに、カヌーバカの私は何だかロマンを感じたのでした。そんな私の好きな英語のことわざをご紹介します。



*Paddle your own canoe.* 自分のカヌーは自分で漕ぎなさい→自分のことは、自分で決め、自分でやりなさい→自分の人生は自分の努力で切り拓きなさい！

(文責：白田 博樹)

## はっけよい！

相撲で使われるこの言葉は多くの方が聞いたことがあると思います。大相撲は他のスポーツとは少し違って、競技スタートの合図がありません。選手二人が呼吸を合わせ、選手が勝手に試合をはじめます。この時、二人の呼吸が合っていて、立ち合いが成立していると行事が判断した時に言う言葉が「はっけよい」です。この「はっけよい」には諸説ありますが、「発気揚揚」から来ており、「気力を高めて、全力で勝負しましょう」といった意味があるそうです。

初めて何かにチャレンジする時、恐怖心や不安があるのではないかと思います。

「やるぞ！」って気力を高めることで全力を出し切れるかもしれません。みなさんの、たくさんの新たな挑戦に、待ったなしで、はっけよい！ (文責：宗 達也)



左が私です。突き飛ばされて一瞬で負けてしまいましたが、気力充分にぶつかりました。